

環境調和創造企業を めざして

ごあいさつ

21世紀を目前にした今、豊かな社会が実現しました。しかし、その一方で人類は地球温暖化やオゾン層の破壊、砂漠化、酸性雨、海洋汚染など地球規模の環境問題に直面しています。こうしたなか、企業にとっても、環境への取り組みは、経営の最重要課題となっております。

クボタは1890年の創業以来、機械・パイプシステム・環境施設・住宅機材・素形材など、さまざまな分野で事業を拡大し、社会の発展に貢献してまいりました。「人と環境の共生」をコンセプトに企業活動を展開し、環境施設や砂漠緑化などにおいて、数々の実績と豊富なノウハウを有する当社の果たすべき責務は、ますます重要になっていくものと考えております。

クボタは、1972年に、本社に公害管理部、工場に公害管理課を設置し、早くから環境問題に取り組んでまいりました。創業100周年を迎えた1990年4月には、「省力化産業社会への貢献」、「社会資本の充実への貢献」、「地球環境保全への貢献」、「住環境の向上への貢献」を企業活動の4本柱とする『創業2世紀ビジョン』を策定し、環境への取り組みについても更なる強化、充実を図ることといたしました。

そして、1992年に、地球環境、日本の環境、クボタの環境が連続した1つのものであるという認識のもと、『クボタ地球環境憲章』を制定し、全社環境方針と重点推進事項の策定、地球環境委員会の設置など、地球環境の保全に配慮した企業活動に積極的に取り組んでまいりました。今後は、環境調和創造企業、即ち、地球規模で持続的な発展が可能な社会の実現のため、地球環境と調和する技術・製品を積極的に創造していく企業をめざして活動してまいりたいと念じております。

このたび、環境調和創造企業をめざす当社の環境保全活動の取り組みについて、『クボタ環境報告書1999』として刊行することといたしました。皆様方の率直なご意見を賜りますれば幸いです。

株式会社クボタ
代表取締役社長

土橋芳邦

